

平城中学校区地域教育協議会

令和6年度 取組報告

中学校区
教育ビジョン

生きる力を身につけ感謝や感動・誇りを胸に地域・学校の中で
自ら成長する子どもを育てる

取組概要

平城地区では、地域の特性をいかして農業を中心に米作り、さつまいも、大根の栽培の事業を行っています。田畑が宅地になっていく時代に、田植え、稲刈りができるのは非常に貴重な体験です。さらに、今年度は龍谷大学の学生が事業に参画してくださり、田んぼの持つ役割やそこに住む昆虫についても踏み込んで学習することができました。

協議会



事業名：食と農のふれあい事業

●龍谷大学のゼミの学生さんのご協力のもと、こども園、小学校のこどもたちが米作りを体験しました。また、コーディネーターと学生さんとの交流会を開催し事業についての意見交換を行いました。



事業名：食と農のふれあい事業

●秋には、子どもたちと鎌を持ち稲刈りに挑戦しました。刈った稲はコンバインであっという間に脱穀され籾になる様子も体験しました。また、田植えの時とは、稲の様子や水田の生物も姿を変えていることを知り、驚きの連続でした。

平城中学校運営委員会



事業名：地域交流事業

●地域の方々と共に「食と農」をテーマにサツマイモや大根の栽培をしました。今年度は、このような平城中学校区地域教育協議会の取組の様子を、さくら食堂などの地域イベントに参加し、中学生がチラシを配布して紹介しました。

平城小学校運営委員会



事業名：命を育む教育

●地域の方と児童が協働し、学校の南に隣接したたんぼをお借りして、5年生が田植え・稲刈り体験を行っています。稲刈り体験後は、お米パーティーを開き、学んだことをポスターセッションで発表するなど、地域の方との交流を深めています。

平城中学校区地域教育協議会

令和6年度 取組報告

平城こども園運営委員会



事業名：食と農・命をはぐくむ事業

●地域の方に田植えの仕方を教えていただき、泥の感触を感じたり、田んぼの生き物に関心を寄せたりしながら植えることができました。お米になるまでの生長や大変さを学び、食べられることへの感謝の気持ちにつなげることができました。